



発行所
日刊自動車新聞社
 東京都港区芝大門1丁目10番11号
 編集料 1カ月5343円+税
 電話 東京(03)5777-2351代表
 ©日刊自動車新聞社2018

Jidosha
 Next New Nikkan

1月12日
(金曜日)

テュフ認証の取得推進

加盟工場 まずは100社超目指す

DRPネットワーク

DRPネットワーク(津島信一会長兼CEO、東京都葛飾区)は第三者認証「テュフ認証」の取得を推進する。現在、テュフラインランドジャパン(トピラス・シユヴァインフルター社長、横浜市港北区)と契約を結び、加盟工場の認証取得に向けた監査サービス(工場診断)を進めている。昨年末時点で30を超える工場が監査申請を済ませており、まずは100社超の取得を目指す。ダイレクト損保がテュフ認証工場への入庫誘導を進める中、先進安全技術への対応のみならず、コンプライアンス(法令順守)、高い顧客対応力も備えた方々のDRP受け入れ体制を整える。



同社がテュフ認証の取得を進めるのは、入庫誘導台数の約75%を占めるダイレクト損保からの誘導を維持し、今後の拡大につなげるためだ。テュフ認証を巡っては、SBI損害保険が昨年10月から認証工場への優先入庫をスタート、チューリッヒ保険会社も試験運用を開始する。ソニー損害保険は提携修理工場の選定基準の一つとし、既存工場では認証取得を推奨している。

今後はテュフ認証の取得有無がダイレクト損保からの入庫誘導に直結すると判断。「ユーザーの第三者認定機関に対する認識も高まっている」とも語る。

板金塗装(BP)業界では、SBI損保が優先誘導を発表して以降、「テュフ認証が保険会社から選ばれるための基準の一つ」(同)になりつつある。BP事業者は自動ブレーキをはじめとする先進安全技術、超高張力鋼板やアルミといった新素材への対応

はもとより、環境対応や法令順守、業務効率化なども求められており、テュフ認証はこうした項目を総合的に評価する第三者認証制度として業界内で取得の動きが広がっている。

BP事業者にとっては、中立で透明性が高いテュフ認証を取得することで、保険会社やディーラー、ユーザーらに対し自社工場の修理、経営品質の高さを訴求することができると見られる。